

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民ギャラリー展示事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	鑑賞だけでなく、参加型の活動を促進し、市民の文化活動の振興を図る。
事業内容	毎月、市役所ギャラリーを利用し、絵画や書道、写真、俳句などの展示を行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 市の直営事業を平成19年度からアウトソーシングし、企画運営を委託で行っている。 本事業は平成22年度から芸術・文化振興事業から独立。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	出展数	235	262	315	点	↑↑↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 絵画や書道、写真、俳句など様々なジャンルの作品を市民ギャラリーに展示することで、市役所を訪れる市民の目を楽しませている。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		674,695	658,243	653,324				
事業費(b)(円)		536,495	507,643	516,024				
うち一般財源		536,495	507,643	516,024				
職員給与費(c)(円)		138,200	150,600	137,300				
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	市民ギャラリーを会場に、月ごとに各種展示を実施する。	③取組の課題	利用できない期間が突発的に生じた場合の調整が必要となる。
②今年度(H28)に実施した取組	多様な分野の作品を展示し、来庁者の目を楽しませた。選挙等で使用できない期間があったが、年12回の展示ができるよう企画の日程調整をした。	④今後の改善計画	一部の団体の既得権益とならないよう、展示内容のマンネリ化を防ぎ、新たな文化芸術団体の発掘に努める必要がある。